

豊野地区説明会 (1/18)

質問 (要望)		回答
河川	千曲川の県で管理している場所があると聞いたが、決壊した部分は県管理の場所だったのか教えて欲しい。	千曲川の決壊箇所は、国が直轄して管理している部分になる。
河川	千曲川が決壊したのは誰の責任か。一番問題なのは千曲川の破堤によってこのような災害が起きたこと。この中で県をはじめ市が国へどのようにこの千曲川を破堤しないようにしていくのか。それを聞きたい。絶対決壊しない堤防を作って欲しい。	千曲川の治水対策については、今回の災害を受けて国、県、千曲川流域41市町村で「緊急治水対策プロジェクト」の検討を行っている。5年間にわたって緊急にすべき対策(遊水地や河道掘削等)を盛り込むことで進めている。市としては、抜本的な対策を皆さんの意見を聞きながら国へ強く要望していく。
支川	南町が低い土地で、浅川の水位が下がっても水が引かない地域で排水ができなかった。その対応はどうだったのか。地盤沈下が起きているが、その状況を確認しているのか。	排水等の対応について、具体的な場所等確認し回答する。
支川	浅川からも被害を受けている。浅川排水機場等の排水ポンプの稼働状況、被災した排水機場の復興計画を教えて欲しい。	浅川第二排水機場は、昨年10月末に仮稼働し、本年の出水期までには本復旧する。千曲川の水位が計画高水位になり、排水機場のポンプを止めたことに加えて、千曲川の越水、決壊によって各ポンプ場が水没し故障した。今回三念沢ポンプ場は、12月12日午後1時40分に運転を始めている。沖ポンプ場は、12日の午後8時20分運転を始めている。午後11時40分千曲川沿線全地域に避難指示が出された。避難指示に従って操作員を避難させた。本復旧は、国の補助金を活用して令和3年3月までに行う予定。 浅川第三排水機場は、千曲川の立ヶ花の水位が3mに達してさらに水位の上昇の恐れがある時に洪水警戒態勢を配備するとしている。12月12日午後6時から洪水警戒態勢に入った。千曲川の水位が上がり千曲川から浅川に逆流するのを確認した結果、午後7時18分ゲートを閉めた。午後7時46分にゲート閉鎖が完了し浅川第三排水機場の運転を開始した。その後さらに千曲川の水位が上がり、午後11時56分に設定洪水に達した。これに達すると千曲川の堤防が危険になるといったもので、排水機場からの排水を午後11時56分に停止するよう国土交通省から指示がある。これを受けて午前0時8分排水機場の運転を停止した。
仮設	仮設住宅は2年と聞いている。公費解体が始まっているが解体して新築して入居するまで2年で間に合うのか。	全ての方が2年で決まるのは難しい。災害公営住宅の建設を考えている。
農業	市が牽引役になって被災地域のP Rや農産物の販売を行って欲しい。	被災した農業機械、倉庫、ハウスの復旧を優先して取り組んでいる。市内では約6,000件の被害があり、市だけでなくJ Aと協力して復旧に取り組んでいる。 気候の変動に伴い長野市として今後どんな作物を振興していくのかについても検討していく。
住宅	沖団地の早期解体をお願いしたい。	沖市住の入居者の7割が戻りたいと考えている。沖団地の再建を現在検討している。また、全被災者を対象とした災害公営住宅の建設についても検討している。 沖団地の解体は、新年度早々に着工する予定。

	質 問 (要 望)	回 答
情報	行き先が解らない人の情報が欲しいと市に話しても、情報がもらえない。民生委員も同じ。プライバシーを守るため被災者に許可をもらってこちらの団体に教えてもらうことはできないか。公民館、かがやき広場の使用できる時期を教えて欲しい。	孤立の被災者がいる場合には、連携をお願いしている民生委員につなげて支援していただく。公共施設の復旧については、検討を始めたところなので復旧の方法など、明確に答えられないが迅速に進める。
その他	豊野は福祉のまちであり、高齢者、障がい者施設利用者500人が住んでいる。福祉従事者も500人以上いるため、豊野に戻りたい人が多い。	住み慣れたところに戻ってきたいといった熱い思いは十分に伝わった。その思いを復興計画に生かしていきたい。
その他	生活再建が優先されるので優先順位は低いと思うがスポーツで豊野を元気にしたい。体育館の復旧が遅れていると聞いたが、いつごろから使用できるのか。	検討を進めているところ。この復興計画の中に盛り込まれるよう早期復旧に取り組んでいく。
その他	インフラの復旧は肅々と進めてもらいたい。大事なのは、今後のまちづくりについて真剣に考えて欲しい。(ランドデザインを示して欲しい) 若い人が移り住んでもらえるような街にして欲しい。	計画は、5年で終わらない部分もあるので継続的にやっていく。様々なご指摘は今後の対応に生かしていく。
その他	三条市の防災ステーション等を視察した。豊野地区についても、災害を忘れないためにも消防の分署や交流施設、防災ステーションを設置して欲しい。	防災ステーションの要望については、災害を忘れない意味では大切なことなので持ち帰って検討する。
その他	区費の減免を考えている。区費がないと自治会は運営できない。市に集まっている義援金等を区費に回していただけないか。	区費の直接的な減免はできないが、コミュニティー活動が遅滞なく復興に取り組めるよう検討する。
その他	豊野地区全体を水を溜めるプールにするというような、住まないことを前提に考えることも必要ではないか。将来の街を考えて欲しい。	-
その他	県は、越水が原因だったと言っているが、私は納得できない。須坂市側は越水したにもかかわらず堤防は決壊していない。これはなぜなのか。須坂市側の堤防は、1983年から2011年にかけて2,400枚の鉄板を打ち込んでいる。桜堤ではだめだった。このことを行政は認めるべき。	-